

## 連合 2016平和行動in沖縄



# 生命・人権・財産は今でも脅かされ続けている！

## ～全国から約1,300人の仲間が結集～



平和行動 in 沖縄に参加された連合福島派遣団の皆さん  
人権・財産は今でも脅かされ続けている。

連合は、沖縄戦から71年目となる慰霊の日（6月23日）にあわせ、6月23日・24日の2日間、2016平和行動 in 沖縄を開催した。連合福島からは、派遣団として郡山地区連合の安藤議長を団長に

1945年太平洋戦争の末期、沖縄に上陸した米軍と日本軍との激しい地上戦が行われ、日米合わせて20数万人が亡くなった。この沖縄戦から今年で71年目を迎えたが、全国の米軍基地の74%がいまだに沖縄県に集中しており、基地があるがゆえに起こる事件・事故などで県民の生命・



沖縄県平和祈念資料館前で

7名が参加した。

1日目の「2016平和オキナワ集会」は、那覇市民会館大ホールにおいて、全国から構成組織・地方連合会あわせて約1,300名が結集し開かれた。集会では、沖縄戦の実相とその悲惨さや平和の尊さを学び、参加者全員で今後も粘り強く平和運動を推進して行くことを誓い合った。



デモ行進前の集会場にて

2日目は各地方連合会の要望が組み込まれた「ピースフィールドウォーク」に参加し、沖縄戦の激戦地となった嘉数高台公園や在日米軍海兵隊の普天間基地、更にはアメリカ空軍の嘉手納基地や沖縄県平和祈念資料館などを視察した。その後、連合主催の「在日米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会に参加し、県庁前県民広場から牧志公園までデモ行進を行ったあと、帰路に就いた。



デモ行進をする連合福島派遣団の皆さん